



第86号

●主な記事

令和6年度同窓会総会開催
支部・同期会・OB会日より
母校近況・寄贈図書

令和6年12月16日発行

一般社団法人 長野高等学校金鷄会

事務局 ☎(026)235-3822

発行人 山口 利幸

編集人 原 良通

.....
URL

<http://www.kinshi.org>

E-Mail

dousoukai@kinshi.org



ご挨拶

同窓の皆様、いかがお過ごしでしょうか。平素から同窓会活動にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。本年は気候変動による猛暑が長く続き、暮らしに深刻な影響を及ぼしました。殊に能登では地震被害に追い打ちをかけるように線状降水帯による洪水被害に見舞われました。日本の文化は明瞭な四季とそのうつろいに育まれてきましたが、気候変動により「二季」に変容する危機に直面しているのでは、と危惧するものです。

さて、本年度の同窓会活動は6月29日(土)の総会において昨年度の事業報告及び本年度の事業計画及び予算が承認されスタートいたしました。中でも第3号議案「同窓会新データベースの構築について」は学年幹事会においてその目的、運営方法や懸念等について論議された上で承認されました。今後はその進捗状況等を報告してまいります。記念講演は和田照子氏(高40回)の「経団連とガールスカウト〜デュアル・キャリアを生きる」でした。経団連の要職を務めながらガールスカウト日本連盟元会長を歴任されるなどまさに「二刀流」を実践しておられま

会長 山口利幸 (高17回)

す。流動化、複雑化している現在の時代状況に自分の立ち位置に根差しつつ広い視野で柔軟に生きる姿に感銘を受けました。総会後の懇親会は大いに盛り上がり、応援団OBによるエールと「山また山」を全員で斉唱して再会を誓いました。担当学年の40回生、52回生の皆様方のご尽力に改めて御礼申し上げます。

翌日、母校の金鷄祭を見学しました。その一端を紹介いたします。コロナ禍の中で中学、高校生活を過ごした生徒たちが掲げたテーマは「face to fes」(「仲間や来校される方と顔を向かい合わせて一緒に祭を創り上げる」)です。「三密」を避けることを強いられた生徒たちの心の声を聞いたように感じました。教育は本質的に師弟や友人等との直接的、アナログの関係の中で成立します。生徒たちは素晴らしい感性で金鷄祭のテーマを設定していました。また、校長室にある「神聖なるピアノ」が調律され、当日、何人もの生徒たちが入れ代わり立ち代わり自分の得意曲を弾いてくれました。聴衆は皆「伝説の音色」に酔いしれました。粋な企画をしていただいたすべての方に感謝いたします。



11月 復活した2学年台湾研修旅行



6月 金鷄祭「神聖なるピアノ」演奏会

学年幹事会・同窓会総会開催

令和6年度の学年幹事会・同窓会総会が6月29日(土)に開催されました。総会は高40回と高52回の皆様に幹事学年として運営していただき、懇親会も含めて盛大に開催できました。今年は、同窓会のDX化を視野に、新しいデータベースを構築するため会員情報の登録を進めることが決まりました。現役生徒への情報提供や会員相互の情報交換などへと展開していくことが期待されます。

期 日 令和6年6月29日(土)
場 所 長野市県町 ホテル国際21
出席者 学年幹事会 100名(委任状を含む)

学年幹事会

◇議事

- 第1号議案 令和5年度事業報告・決算報告承認
監査報告
- 第2号議案 令和6年度事業計画・予算案承認
- 第3号議案 同窓会新データベースの構築について

◇令和5年度事業報告・令和6年度事業計画

- 1. 会館維持運営事業
- 2. 旧制中学校資料収集事業
- 3. 高校生の国際理解涵養事業
- 4. 市民大学開催事業
- 5. 太陽光発電事業
- 6. 同窓会事業
 - (1)会報「日新鐘」の刊行
 - (2)支部・同期会・OB会への協力
 - (3)在校生への援助 (4)ゴルフコンペ
 - (5)購買 (6)日新館事業
 - (7)結婚相談室
 - (8)同窓会新データベースの構築
- 7. 総会、理事会、各種会議の開催

◇令和5年度決算・令和6年度予算

○収入の部		(単位:円)	
科 目	令和5年度決算	令和6年度予算	備 考
正 会 員 会 費	10,120,000	11,100,000	
準 会 員 会 費	2,253,400	2,261,000	在校生
特 別 会 員 会 費	26,000	20,000	旧職員
貸 室 料	974,248	1,000,000	
市 民 大 学	0	80,000	
太 陽 光 発 電 収 入	1,491,886	1,400,000	
寄 付 金	3,579,100	1,400,000	
雑 収 入	73,806	50,100	利息・購買
貸付金返済収入	800,000	0	長野高校PTA
退職金取崩収入	300,000	0	
そ の 他	88	400	
前 期 繰 越 金	19,582,504	19,700,095	
合 計	39,201,032	37,011,595	

○支出の部		(単位:円)	
科 目	令和5年度決算	令和6年度予算	備 考
会 館 運 営 事 業	4,857,852	5,026,000	給料・通信費・補修費等
旧制中学資料収集事業	16,500	30,000	
国際理解涵養事業	195,000	210,000	
市 民 大 学 事 業	0	129,000	
太 陽 光 発 電 事 業	250,791	268,000	
同 窓 会 事 業	8,249,206	9,135,000	会報発行費・教育奨励費等
管 理 費	5,190,114	5,420,000	人件費・光熱水費・火災保険等
退 職 金 積 立	200,024	200,000	
会館設備補修積立	300,000	200,000	
什器備品購入支出	241,450	0	結婚相談室エアコン
予 備 費	0	50,000	
次 期 繰 越 金	19,700,095	16,343,595	
合 計	39,201,032	37,011,595	

同窓会総会

当番回期 高40回・高52回

◇学年幹事会報告

◇記念講演会

演 題 「経団連」と「ガールスカウト」
～デュアル・キャリアを生きる～

講 師 講師 和田照子氏(高40回)
一般社団法人日本経済団体連合会
国際経済本部長
公益社団法人ガールスカウト日本連盟 前 会長
ガールガイド・ガールスカウト世界連盟 元 理事

◇懇親会



記念講演会 和田照子氏 (高40回)



懇親会にて当番学年の引き継ぎ

母 校 近 況

● 管弦楽班



私たち管弦楽班は2年生8人、1年生17人で活動しています。管弦楽班という名前ではありますが、普段は弦楽器のみで活動しており、オーケストラを組む際には吹奏楽班のみなさんに協力していただき、一緒に演奏しています。7割程度が高校から始めた初心者ですが、経験者に教わったり、初心者で教えあったりしながら、仲良く技術を向上させて音楽に親しんでいます。

年間を通じて、入学式・卒業式の入退場の生演奏、文化祭での発表、長野県選抜オーケストラ(東北信選抜、全県選抜)として全国高等学校総合文化祭や長野県総合文化祭、長野県高等学校オーケストラフェスティバルへの参加、OB・OG会、校内音楽会、全国オーケストラフェスティバル、定

班長 2年 粕谷百音

期演奏会など、たくさんの演奏会・大会に参加しています。

10月22日(火)にホクト文化ホール大ホールで行われた校内音楽会では、吹奏楽班・合唱班・音楽選択者とともに、ベートーヴェン交響曲第9番「合唱付き」より第4楽章を約300人で無事に演奏することができました。

令和7年3月15日(土)には、長野市芸術館メインホールにて、第45回定期演奏会が行われます。今年度はドボルザーク作曲弦楽セレナーデより抜粋、モーツァルト作曲交響曲第41番、またソリストにオーボエ奏者の柳沢実花さんをお迎えしてモーツァルト作曲オーボエ協奏曲を演奏いたします。どれも繊細さが求められる難曲ぞろいですが、少しでも当時の音色に近づけるよう、日々練習を重ねているところです。みなさまのお越しをお待ちしております！

最後になりますが、弦楽器の活動のため大変金銭面で負担があるのですが、OB・OGの皆様や地域の皆様にご支援いただき、充実した活動ができております。この場を借りて御礼申し上げます。

● 卓球班の活動について

卓球班では、現在1年生11名、2年生7名の計18名で活動しています。経験者はもちろん、高校から卓球を始めた選手も多くいますが、全員で実力の向上、大会で良い結果を残すために日々練習しています。先輩、後輩関係なく班員どうしの仲が良く、互いに教え合うことのできる関係が築けていると日々感じています。3年生最後の大会である高校総体の北信大会では、男子団体戦で強豪の長野商業に競り勝ち、悲願の県大会出場を決めました。先日行われた新人戦では、男

班長 2年 横山颯来

子団体が7位、女子団体が6位で、男女共に県大会への切符を掴むことができました。シングルス



でも1年生の中澤君が県大会出場を決めました。県大会では、男子団体が1回戦で南信2位の岡谷工業に競り勝つなど、日々の練習の成果が着実に出ていていると感じる大会となりました。現在は、各種大会において上位進出を目指し、日々練習しています。

さて、ここからは班長である僕から見た卓球班の様子をお伝えします。まず、前述した通り、班員の仲がとても良く、男女合わせて18名と決して多いわけではありませんが、だからこそ全体の仲が深まっていると思います。それは先輩と後輩がしっかりコミュニケーションをとれていることが

大きいです。変に上下関係にとらわれず、班全体の雰囲気がとても良くなっていると思います。技術向上という面でも、互いに教え合うことができる（男子は2年生よりも1年生の方が圧倒的に強いので、教えてもらうことばかりですが…）ことは、非常に良いことだと思います。高校から卓球を始めた選手も、熱心に練習に励み、短期間で上達しています。卓球は個人競技ではありますが、団体戦はもちろんのこと普段の練習から「仲間」がいて成り立つ競技であることをつくづく感じます。これからも班員全員で一致団結し、高みを目指して努力していくので、応援よろしくをお願いします。

● 定時制 令和6年度 Edible School Gardenの活動について

定時制 教諭 北島匡晃



定時制1・2学年の総合的な探究の時間に行っている『Edible School Garden ～野菜を植えて学校に活力を！～』をテーマとした取り組みは、本年度で5年目を迎えました。

本年度の活動は昨年度に引き続き、テニスコート横に石灰岩質のブロックで区画を作り、マルベリーとレッドガーランドを植えた新たな“Edible Wonder! Garden”を造成しました。

また、雑草が生茂る中庭の空き地を整地し、5月に里芋、トマト、ジャガイモ、レタス、ブッキーニの移植、さらにトウモロコシ、ヒョウタン、ホウズキの播種を行いました。作物の品種については、できるだけ原種に近いものを選定し、形態、色、味といった作物の特

徴をはじめ、食と人の生活との関りを中心に様々な視点から“食”に関する学習を深めています。

9月には、秋野菜として様々な品種のカブ、大根等を播種しました。いずれの作物も立派に生育し、生徒のみならず職員にも喜ばれています。今年は特に北信地方の固有種である里芋“善光寺”が豊作で、11月8日には秋の里芋収穫祭を行いました。調理室をお借りして、生徒自身が芋の皮むきから味付けまで上手に“芋煮”と“里芋チップス”を調理し、定時制全生徒、職員で堪能しました。

生徒自身が作物を育て、収穫し、調理して食するという経験はとても貴重で、また仲間と語り合い、協働してことを成すという意味からとても有意義な取り組みであると思います。

最後に、本活動の実施にあたって、本校同窓生の坂口則夫氏（(有)ズーニィ・カンパニー・高23回）によるご指導、ならびに同窓会より多大なるご支援を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



支部・同期会・OB会だより



高40回

令和6年度同窓会総会・高40回同窓会

梅雨晴れとなった6月29日(土)、長野市のホテル国際21にて令和6年度金鷄会同窓会総会が盛大に開催されました。準備は約1年前からスタートし、卒業30周年のクラス幹事を中心に進められました。LINEグループの立ち上げや実家への電話連絡といった地道な取り組みの成果もあり、当日は多くの懐かしい顔が一堂に会する素晴らしい会となりました。この場をお借りして、準備に尽力してくださった皆様に心より感謝申し上げます。

当日は多くの同窓生が集まり、笑顔あふれる和やかなひとときとなりました。総会に続いて行われたのは、高40回の和田照子さんによる記念講演です。『経団連』と『ガールスカウト』デュアルキャリアを生きる』というテーマのもと、和田さんが語る経験豊富なエピソードと軽妙な語り口に、参加者一同が魅了されました。

その後の懇親会では、高52回生が司会を務め、当番回期の引き継ぎやエール交換、校歌斉唱などが行われ、同窓生同士の絆を改めて実感する温かな時間が流れました。

また、総会後には会場を移し、高40回の学年同窓会が開催されました。新たに合流する参加者も多く、最終的に109名が参加。卒業時のクラスごとにテーブルを

囲み、久しぶりの再会に歓声上がるなど会場が笑顔で包まれました。次回の再会を楽しみに、自然と再会を誓い合う場面が見られるなど、心温まる一日となりました。

今回の総会を支えてくださった事務局や理事の皆様、そして運営にご尽力いただいたすべての皆様に、改めて感謝申し上げます。
(山口英彦)

高24回 同期会

コロナ禍で開催できなかった高校24回同期会を5月15日(水)から16日(木)にかけて長野市飯綱のアソビーバ・ナガノパークで開催しました。北海道からの参加を含めて45名の参加者で、宿泊は30名でした。また、16日に企画した長野カントリークラブでのゴルフに8名、飯綱高原観光協会のベテランガイドによる解説付きの高原散策に5名の参加がありました。

同期会は開会の挨拶をする予定であった当時の生徒会長がスケジュール帳への記入ミスで参加できないことが当日判明したり、1名離席していることに気づかないまま集合写真を撮ってしまうなどのハプニングがありましたが、幹事挨拶・36名の物故者への黙祷・校歌斉唱と会は進み、乾杯後は和やかな宴会となりました。顔合わせが卒業以来となる同期もいて高校時代の



話に古希を忘れて時間を過ごしました。校歌斉唱では用意した歌詞カードは不要で参加者の母校への思いが大きいと強く感じました。

平成30年以來の開催となった今回の同期会は初めての宿泊開催としましたが「仕事があり平日の参加はできない」や「介護があり二日留守にできない」などの返信があり、当初予定した人数には届きませんでした。次回はより多くの同期が参加できるよう休日日帰りで企画したいと幹事団は考えています。(永原英樹)

高17回 3年1組 同級会

6月20日(木)昼12時から高17回(1965年・昭和40年3月卒、卒業後59年)3年1組(49名女子2名含む)の同級会を長野駅前「油や」で開きました。数名は午前中、金鷄会館を訪ね、旧教室、資料室、池田満寿夫ギャラリー

など見学しました。同級会には、県内外から19名集まり、10名の物故者並びに恩師の担任の駒込光雄先生、世界史・笹岡道夫先生、国語・依田知栄先生のご冥福を祈り、黙とうから始まりました。

駒込先生は貫禄十分の数学の大先生(通称マンモス)で、先生およびルームマスターのM君、T君のもと、何事も「一致協力」して行ったクラスで、バレーボール、ソフトボールで優勝、合唱「線路の歌」、仮装大会「ウエストサイドストーリー」で全校2位になるなど計6枚の賞状とカリントウを獲得しました。能生での水泳、遠足・修学旅行、白馬・富士山登山、菅平スキー、コンパ、金鷄祭、各班の活動、生徒会活動など、勉強とともに高校生活を十分に楽しんだクラスです。

また、我々は野球班が夏の全国甲子園大会に行った時の1学年でした。そんなこともあり、同級会では吹奏楽班のT君が甲子園で吹いた「闘牛士のマンボ」の





吹奏楽班甲子会

サックス演奏があり、凱歌等応援歌・校歌を皆で大声で歌いました。3時間があっという間に過ぎ、再会と互いに健康であらんことを約して別れました。

(参考資料：O君、K君らの提案によって3年生の9月の金鷄祭後の受験勉強の合間に作った3年1組クラス卒業記念文集「思ふどち」より)

(幹事 竹前紀樹、丸山正一)

吹奏楽班「甲子会」 31年の活動に幕

吹奏楽班甲子会は6月29日(土)、権堂やま茶屋で5年ぶりに懇親会を開き、首都圏からの6人を含む14人の参加者は昔日を懐かしみつつ和やかなひと時を過ごしました。

甲子会の原点は名前が示すように1962年(昭和37)夏の甲子園(第44回全国高等学校野球選手権大会)です。炎熱のアルプススタンドで力一杯応援演奏をした体験は青春真っ只中の高校生の記憶に深く刻み込まれました。それから31年目の1993年(平成5)夏、甲子園を経験した15・16・17回生が合同で「青春の炎を呼び起こす懇親会」(当時の案内状)を開きました。「甲子会」の始まりです。以来31年間、コロナ禍での中断はあったものの夏の恒例行事として定着してきました。しかしこの間少なくない仲間が世を去り、近年は体調不良などから参加を見合わせるという声もきかれるようになったため、15回生が80歳を迎える今年を区切りとして甲子会の活動に終止符を打つことになりました。

幹事の清水さん(17回)がこうした経過を報告し、物故者に黙祷を捧げたあと、代表幹事塚田さん(15回)の挨拶、当時の班長宮島さん(15回)の発声で乾杯し、宴

会がスタート。例年なら「しばらく歓談を」となるところですが、話したいことは山ほどあるだろうからと、早速一人ひとりのスピーチに移りました。甲子園でのエピソードはもちろんのこと、初めて出場した吹奏楽コンクール東海大会、ラテンやジャズの演奏も逸早く取り入れたことなど班活動の思い出は語り出すときりがありません。「高校時代が人生の一番の華だったように思える」(欠席者からのメッセージ)という気持ちはおそらく皆に共通のものでしょう。そして今、吹奏楽団やジャズオーケストラでの活動、高齢者施設でのボランティア演奏、楽器からは離れてもコンサート通いは欠かさないなど相変わらず生活の中に音楽があり、また山歩きやウォーキングなどで体力維持に気を配る人、中にはバリバリの現役という仲間もいます。一方で健康上の心配を口にする人がいたのも年齢を考えれば無理からぬことかもしれません。とは言え「青春とは心の若さである…」と松下幸之助の言葉を引いたメッセージを寄せてくれた某氏のように、皆さん気持ちはまだまだ青春の只中にあるようでした。

最後は内田さん(16回)のトランペットに合わせ「山また山」を斉唱。お互いの息災を願いながら、後ろ髪を引かれる思いで最後の会を閉じました。

甲子会は野球班の活躍があったからこそ生まれた会です。62年前の夏、「熱血健児の意気」を示し甲子園出場を勝ち取った「長野ベースボールチーム」の皆さんに感謝いたします。

〈追記〉この日の会で甲子会の積立金を現役吹奏楽班に寄付することが承認されました。7月16日、幹事の清水さんと丸山が廣田昌彦校長先生(吹奏楽班OB)、吹奏楽班顧問の水野英明先生、班長の西澤遥大さんと面

会し、金一封(30万円)を贈呈しました。

(高17回 丸山憲司)

高55回 卒業20周年記念同窓会

8月10日(土)、高55回の卒業20周年記念同窓会をホテルメトロポリタン長野にて開催しました。20周年という大きな節目の同窓会が、コロナウイルスの影響で一年の延期を余儀なくされましたが、無事に開催できたことを心から感謝申し上げます。皆様のご支援のもと、100名もの先生方や同級生が集う機会を得られたことは、改めて絆の深さを感じる瞬間でした。

当日、会場には久しぶりに顔を合わせた懐かしい面々が集い、高校時代の思い出話に花を咲かせました。青春の一ページを共に刻んだ友人たちと、笑い合い、語り合うひとときは、当時の青春をよみがえらせ、心を満たしてくれるものでした。その一方で、20年という年月が、私たち一人ひとりに多様な道と経験を与え、それぞれのステージで奮闘している姿に刺激を受け、自分自身もまたこれからの挑戦に向かっていく勇気をいただきました。

そして、お忙しい中、わざわざお越しいただいた先生方には深く感謝申し上げます。ご祝辞や励ましの言葉は、私たちにとって変わらぬ心の支えであり、この場をさらに温かく、意義あるものにしていただきました。長い年月を経ても変わらぬ先生方とのご縁に、心からの感謝を申し上げます。

また、次回の再会が待ち遠しいと思えるほどに、私たちのつながりの大切さを改めて感じたこの同窓会。今回残念ながら参加できなかった方々からの寄付や、当日ご参加いただいた皆様の温かいご協力もあり、30

万円を長野高等学校金鶏会に寄付させていただきました。皆様のご厚意に深く感謝申し上げますとともに、次回もまた新たな思い出を共に作る日を楽しみにしております。
(野村直生)

高56回 卒業20周年記念同窓会を終えて

去る8月11日(日)、私達の代の同窓会が総勢102名の盛会の裡に終了しました。

初めのうちこそ顔や姿に見られる20年という時の流れに戸惑ったものの笑、すぐに、本当にあっという間に、当時の関係性で話せるようになりましたね。会場のそこかしこでそんな雰囲気を感じました。余興の類は一切用意せず2時間歓談のみにしたことで、会が始まるまでは間延びしたらどうしようかと少し心配はしましたが、全くの杞憂に終わりむしろ「3時間あってもよかったね」という声もいただいたほどでした。

会冒頭の幹事挨拶でも述べましたが、今回準備を進める中で、ずっと繋がっていた仲間のみならず、当時は話したこともなかった同窓生からも様々に協力をいただきました。LINEでお知らせをする度につくりアクションがなんと嬉しかったことでしょう(約200人のグループにお知らせを送るのは結構緊張するものなのです)。当日は幹事の仕事を果たすため、あまり多くの人と話すことはできませんでしたが、あの場のどこかで「高校生の時はあまり関わりなかったけど」という小さな輪ができていれば主催者冥利に尽きるというものです。

さて、今回は残念ながら出席できなかった方もご安心ください。10年後、卒業30周年記念同窓会はやるつもりでいます。そして、もし、万が一それまで待てな



高55回



い人がいたら連絡ください。善処します 笑
では同窓生の皆さん、また会う日までお元気で。
(幹事 西澤信吾)

管弦楽班OB会

去る8月11日(日)、毎年恒例となっている管弦楽班OB会を今年も執り行いました。

例年は金鷄会館での実施のところ今年は音楽室での実施ということで例年とは異なりましたが、それでも今年も幅広い世代のOB・OGの皆様にお集まりいただき、盛大に開催することができました。

今年の合奏はOB合奏でモーツァルトの交響曲35番「ハフナー」、現役演奏、合同演奏もモーツァルトでそれぞれディヴェルティメント第1楽章、交響曲第41番「ジュピター」を演奏しました。後半の有志演奏ではベー

トーヴェンの弦楽四重奏曲や80年代を彩った名曲「赤いスイートピー」などバラエティ豊かな楽曲で盛り上げてくださいました。

現役生の方は、今年は例年より多く20名前後の新入部員に入ってもらえて、いつも以上に賑やかだったのが印象的でした。高校から楽器を始める人も多く、この時期はついていくのが精一杯かもしれませんが、これから先の班活を通して、音楽の楽しさをたくさん味わっていただければと思います。

近年のOB会は参加メンバーの固定化が著しく、ここで年1回先輩・後輩と顔を合わせる機会は嬉しいのですが、反面毎年いる顔以外をなかなか見かけないのが寂しいところです。特に自分の同期や年の被る先輩・後輩にはなかなか集まってもらえず、どうすればより様々な方に来てもらえるか、来年までの課題となりそうです。久しぶりの再会の場としてだけでなく、今の



管弦楽班の姿を知ってもらおう場として、もっと幅広いOB・OGの方に集まってもらえる場所になるように尽力していきたいと思います。(高69回 樋本陸人)

大切に育んでまいりたいと思っております。それではまた来年の8月11日にお会いしましょう！

(カイトソサエティ副会長 高61回 富林花苗)

合唱班OB・OG会 カイトソサエティ

8月11日(日)、長野高校合唱班OB・OG会カイトソサエティの集い「山また山の日」が開催されました。会の名称は国民の祝日「山の日」と、校歌の冒頭の歌詞を掛けて名付けられました。

大学生から80歳代までの幅広い年代の会員が約50名集まり、合唱や歓談を楽しみました。練習曲は母校120周年記念演奏会でも歌った「言葉は」、現役の定期演奏会で歌ったこともある「柳河」、「鷗」の3曲で、萩原(樋口)遼さん(高63回)の指揮で歌いました。どれも馴染みのある曲でしたが、その日に集まったメンバーで声を合わせて歌うことを楽しみ、充実した時間となりました。

会の中ではカイトソサエティの役員交代式も行い、長らくご尽力いただいていた会長、事務局長等の交代を発表しました。会長は堀内征治さん(高16回)が退任し名誉会長に、後任は吉川泰さん(高33回)が務めます。事務局長は三ツ木辰巳さん(高23回)が退任し顧問に、後任は住澤則夫さん(高33回)が務めます。新体制にはなりますが、これまで培われてきた合唱班のOB・OG会を維持し発展させていけるように努めてまいります。

「山また山の日」は来年以降も毎年8月11日に行う予定です。今回は出席できなかった方も、今後は是非ともご参加お待ちしております。一年に一度の集まりとなりますので、歌い楽しみ交流する会として、これから

卒業後40年以上経過の弓道班同窓会

パリオリンピック閉会式前日の8月11日(日)、長野駅前で高30、32～35回生の5学年での弓道班同窓会を開催しました。コロナウイルス感染拡大の懸念はありましたが、60歳を超える仲間達が全国各地から33名集まり、思い出話や近況報告に花を咲かせました。

当時は古い弓道場で、顧問に頼らない教本を見ながらの先輩方から後輩達への指導でした。懇切丁寧な0からの学生同士の指導という良い面と、知識と経験の浅い学生レベルでの試行錯誤にもかかわらず、よくそれなりの射形を保って的中させていたと、今思えば奇跡ともいえる活動だったと思います。各自の節度ある自由と規律の精神が、伸び伸び活き活きの事故のない楽しい班活動として、先輩から後輩へと引き継がれていったのだと思います。

卒業後40年以上も経過しているので、それぞれの顔つき、頭髪、体形には人生の足跡が見て取れましたが、高校時代の面影はそれ程変わるものではなく、若き高校時代に一瞬にして時間を遡り、当時の練習や放課後等のエピソードや、今だから話せる秘密の恋バナなどにも話題を広げて楽しい語らいの時を過ごしました。全員での写真撮影と校歌斉唱と万歳三唱で一次会は終了し、二次会には学年ごとに繰り出しました。カラオケに行った学年は、懐かしいあの頃の曲を声高らかに歌いました。



合唱班OB・OG会



弓道班

5年後にはまた開催しますので、今回出席された方も欠席だった方も、次回の再会を期してお元気にお過ごしください。なお、「1959年～2022年までの弓道班の歩み・記録集」については、現役生がインターハイに団体で出場した場合に続編の改訂充実版を作成することを確認しました。また、弓道班のブログには当日の他の写真等も掲載してありますのでご覧ください。

<https://naganokoukoukyudohan2.blogspot.com>

(高32回 柳澤幸弥)

硬式庭球班OB・OG会

8月12日(月)に長野高校テニスコートにて第2回硬式庭球班OB・OG会が開催されました。現役生を含め総勢約40名規模となり、第1回の開催に続き先輩後輩・同期の絆を感じ合うに十分な人数の参加をいただきました。今年は卒業したてのOB1年生達も駆けつけてくれ、フレッシュな顔ぶれが増え活気に溢れていました。

顧問の志津先生、山口先生の多大なご協力の下、当日もご参加いただき無事本会を実現できたこと深く感謝申し上げます。

実行委員の現会長山内雅喜氏(高31回)の挨拶から始まり、OB・OG会から現役生へボールを寄贈させていただきました。惜しくも当日参加できなかったOB個人からのボールの寄贈もあり、長高庭球班の強い絆を垣間見ることができ、この絆が少しでも現役生が良い環境でテニスをプレーできることの一助になればと思っています。

その後記念撮影を経て、OB・OG対現役生の団体戦を開催しました。手に汗握る白熱した熱戦もあれば、和気藹々と笑顔に包まれる和やかな試合も出てくるなど、真夏の空の下「ナイスショット!」の音が響き渡る良い雰囲気の中で各試合が展開されました。昨年に続きOBチームの勝利で幕を閉じた団体戦でしたが、勝敗よりもテニスを通じて世代の垣根を越えたコミュニケーションも活況となったことが喜ばしかったです。



硬式庭球班OB・OG会

また、OB・OGで集まった夜の部の懇親会も大いに盛り上がりました。硬式庭球班で卒業後も集まることができ、かつ現役生や若手が悩みの相談などが行える場を作りたいという会の願いが着実に実を結び始めているのだと感じました。本会が今後も卒業生の拠り所となればとても喜ばしく、またそうなることを切に願っています。

この絆を大事にし、次回は更に大勢の参加者が集まり盛大に行われることを期待しています。

(高57回 高野史也)

籠球班OB会

「長野県四高校バスケットボールOB定期戦 第45回記念大会」を開催

8月14日(水)、長野高校、松本深志高校、上田高校、諏訪清陵高校の四校OBによる定期戦第45回記念大会を本校体育館で開催し、OB戦、現役戦各々総当たりのリーグ戦を行った。

今回は、「四校運営委員会」(現委員長:塚田和徳氏(高26回))が企画し、運営は長野高校籠球班OB会(会長:塩入信一氏(高22回))が行った。参加者は最高齢80歳を筆頭に総勢150名余。各校往年の名プレイヤーも参戦し、最年長は本校OB松岡憲四郎氏(高17回。元日本バスケットボール協会理事・総務部長・事務局長を歴任)の77歳であった。OB戦・現役戦、ともに松本深志高校が優勝を飾った。

試合終了後、市内で懇親会を開催し、恒例である各校から校歌・班歌のお披露目などエール交換を行い、最後は全員で肩を組み「信濃の国」の大合唱で締めく

くった。

ここで45回続く大会の開催経過を振り返りたい。遡ること約50年前、松岡氏に松本深志高校や上田高校のOBから何度となく「OB戦やりませんか」との声があり、松岡氏と交流のあった故北澤和基氏(高16回)、徳間昭夫氏(高20回)、塚田和徳氏、故数本正男氏(高27回)等を中心に企画し、本校は、往年の名選手、故高原謙司氏(高9回)、故中沢章氏(高13回)を筆頭に、第1回を1979年7月、東京の西ヶ丘競技場(現NTC・日本スポーツ科学センター)において開催した。2回目以降は、各校から幹事を選出し「四校運営委員会」による運営とした。開催当初は16回をバスケットボールの聖地であった「代々木第二体育館」で開催した。10回大会から5年おきの区切りの大会は、「地元持ち回り」の開催とし、さらに、地元開催の30回松本大会から「現役戦」を加え現役の交流・強化の一助にもなっている。

地方の公立高校OBによる定期戦が45年の長きにわたり継続されていることは全国的にも極めて珍しく、「月刊バスケットボール」や地元新聞社にも取り上げられた。これは、本定期戦の立ち上げに尽力した本校OBをはじめ四高校OBのバスケットボールを愛する「情熱」によるものであり、バスケットボールを通じた各校OB同士の絆、友情、人の輪の広がりから敬意を表したい。

最後に、今大会の開催に多大なご協力をいただいた長野高校籠球班顧問の相澤昌輝先生と現役生、会場を快くご提供いただいた長野高校廣田昌彦校長先生にこの場をお借りし改めて御礼申し上げ、四高校OB・現役の今後益々の活躍を祈りたい。

(高17回 松岡憲四郎・高36回 北島隆英)



籠球班OB会



高16回

高16回 同期会だより

卒業60周年の同期会を9月8日（日）に行いました。病気などの理由で参加できなかった友に読んでいただき、元気になって、次回の集まりに参加されることを願っています。

今回は、長野駅前の「宴席油や」さんで、お昼の12時から会費5千円でやりました。できるだけ参加し易い“場所”、“時間”、“会費”でよかったと思います。参加人数は69名で5年前より15人ほど少なくなりましたが、60年ぶりの友が4名、九州など遠方から来た友、傷病から回復して来た友もおりました。

なお、往復はがきの返信で、亡くなった友4名いらっしやったことがわかりました。病気療養で頑張っている友も大勢いらっしやいました。宴会の中で故人の思い出、友への励ましの言葉が交わされたことでしょう。

会の中味は、いつものようにセレモニーといった堅苦しいものではなく、気楽な雰囲気でした。定番の高校時代の思い出話、現在の心身の健康状況の話で大いに盛り上がりました。気持ちの良い会ができるのも、参加者一人ひとりが幹事の気持ちになって参加しているからだと思います。

次回の大規模な同期会は5年後でなく、もっと早めにとの切実な声が出ました。16回生は5年ごとの会の他、北信地区では年に3回、新年会、お花見、暑気払いを、関東地区では忘年会を続けています。平均余命も延びていますので、気楽にご参加ください。

（幹事 小林正衛）



近畿長高金鶏会 2024年活動報告

関西万博が来年2025年に開催されますが、関西地区以外ではさっぱり盛り上がっていないようです。私は会社関連がパビリオン建築にも関わっているため、チケットも4枚購入し開催に備えました。10月27日の衆議院選挙で、万博を推進した「維新」が大阪府の全小選挙区を抑えたのには大変驚きました。一方で私が住む宝塚市では、2週間後に兵庫県知事選挙があり、前知事（元維新）、他数人が出馬を予定しています。

9月28日（土）、今年度の総会・懇親会を開催しました。コロナ以降、高齢の方が多いため近年の猛暑・熱中症を避けるためにも総会は7月から9月に順延していま



近畿長高金鶏会

す。高坂さんご紹介から、新規に高63回の佐瀬（米山）奈帆さん・梨原（高橋）朔果さんをお迎えし、19名の参加となりました。

今年は2月に西宮郷酒蔵巡り、3月に伏見酒蔵巡り・花見、6月にサントリービール京都工場見学などお酒にまつわるイベントを開催、多くの方に参加してもらえるよう努めています。また今後の課題として、HPの作成やSNSの発信などの交流拠点を作ろうと思います。

今年、大阪駅前に大きな公園と商業施設がオープンしました。大阪城公園や天王寺公園、公園とマルシェのコンビネーションが現在のトレンドです。関西に来られる際には酒蔵巡りや公園巡りなどもいかがでしょうか？京都でも大阪でも、メジャーな観光地を避ければ空いていてゆっくりできる所があります。

（近畿長高金鶏会 会長 高31回 風間和仁）

高26回 卒業50周年記念同期会

10月12日（土）、高校26回生による卒業50周年記念同期会をホテルメトロポリタン長野にて開催しました。ご臨席いただいた成田先生を含め125名が集いました。

懇親会に先立ち金鶏会館見学を実施し、58名の同期生が参加しました。廊下のきしむ感覚に50年前の世界へとタイムスリップしたかの感じでした。同窓会の原事務局長様、並びに鈴木君にお骨折りいただき実現しました。感謝いたします。

さて、懇親会は司会の若林君の開会の言葉で開会し、大久保会長の挨拶、恩師・同期生物故者への黙とう、

内山君の乾杯と進みました。物故者が恩師7名、同期30名にもなったのは驚きでした。乾杯にあたり、今回は日本酒とワイン持ち込み企画を実施し、内山君の日本酒の説明は興味をそそられるものでした。

乾杯後の懇親では、それぞれのテーブルで、またクラブや地域の仲間で話の輪ができました。続いて成田先生からご挨拶いただきました。お元気で過ごされており、同期の吉田さんから花束と記念品をお贈りし、御礼の挨拶をしていただきました。

その後福田君のピアノ、矢野君のオーボエ、林君のクラリネット、沼田君と木我君による歌で「見上げてごらん夜の星を」「翼をください」をご披露いただき、全員で「上を向いて歩こう」を合唱しました。同期会では参加者全員に発言してもらおうと、「私の一言」をクラスごとに記念写真を撮りながら行いました。一言とはいえ、120名余が発言するには相当の時間を要し、時間を意識しすぎて自分の名前を言うだけで終わったクラスもあり少し残念な感じも残りました。

楽しい時間は過ぎるのも早く、終盤に向かい新井君のエール後、福田君の伴奏で校歌斉唱。村松幹事長の締めで閉会の大団円となりました。

同期会の熱気は冷めやらず二次会には84名が参加。尽きぬ話に時を過ごしました。

企画した幹事の皆さん、参加いただいた同期の皆さん、諸般の都合で参加できなかった皆さん。それぞれに感謝いたします。お元気で過ごしてください。

（村松博之）



高26回

高18回 物故者法要



高18回卒業生の同窓会、高一八金鷄会は10月15日(火)に物故者の法要を執り行いました。高18回の卒業生は、全日制467名、定時制70名の合計537名、このうち事務局で把握している物故者は99名です。法要には本学会長の藤本光世さんが住職を務める長野市篠ノ井の円福寺に21名が参列、藤本住職の読経により物故者の供養を行い、参列者は焼香して故人を偲びました。

(佐藤 寛)

高21回 卒業55周年記念同窓会

10月26日(土)、ホテルメトロポリタン長野にて高校21回の卒業55周年記念同窓会を開催しました。前回50周年同窓会は千曲川決壊前夜の開催となって当日キャンセルもありましたが、今回はコロナが収束し、また

5年経過を好機と捉え案内しましたところ、104名もの出席者を得て盛大に開催されました。開催にあたって前幹事内田秀人君らの精査により、連絡はがきの宛先不明はごく僅かでした。

まず、幹事団を代表して横田成美君による開会に続いて幹事長中部豪君の挨拶で始まり、亡くなられた恩師・同窓の友に黙祷を捧げ、叙勲受章者5名のうち出席した蔵谷伸一君が紹介されてから、前回幹事長中村隆次君の乾杯で祝宴が始まりました。

開宴後、前回今回の幹事へお礼、また同期ゴルフコンペ優勝者の紹介等がある中、各々クラスごとのテーブルにて談笑し話もはずみました。我々2組は簡単な自己経過現況紹介をしたら、高校時代との意外感が面白く笑い、驚きで盛り上がりました。宴半ばにはサックス奏者兼阿弥陀寺住職の久遠峯志君の演歌4曲ソロ演奏があり、また当時を懐かしむ(本日の出席者数を競った)クラスマッチかりん糖賞や同期会宿泊ホテル提供オーナーの紹介などありました。

後半は次回幹事を担う南部・北部中学出身者を代表して森正一君から、皆が元気なうちに開催して大勢が参加できることを期待しますと挨拶がありました。祝宴の締めは応援団長兼沢博夫君のリードに従い、応援歌「南下軍」・校歌「山また山」(共に歌詞配布済み)他2歌を唱い、涙ぐみながら声を張り上げる仲間が多く見られました。

最後は全体写真・クラス写真を撮り、ほぼ全員が事前手配の二次会へ繰り出しました。滞りなく次第どおり進行し満足げに散開する仲間達を見送りながら、幹



事の皆様は胸をなでおろしたことでしょう。ありがとうございました。

なお、本会合の会費から長野高等学校金鷄会へ30万円を寄付させていただきましたことを申し添えます。

(森 忠俊)

高9回 長野北ラス会

飯縄山に初冠雪の11月8日(金)、恒例の長野北ラス会を、県外より7名、県内21名、長野高校校長廣田昌彦先生、同窓会事務局長原良通先生をお迎えして、ホテル信濃路にて開催しました。米寿まであと2年、寄る年波には勝てず、年々参加者が減る傾向です。今春

の才口千晴君ほか16名の鬼籍に入られた諸兄に黙祈を捧げた後開会しました。当会は春は東京、秋は長野と毎年開催され、今年の幹事長の中村晴雄君の挨拶に始まり、来春の東京の幹事長の田島知郎君よりの挨拶の後、原事務局長より母校の現況等のお話をいただきました。そして東京よりの紅一点飯塚迪子さんの乾杯で懇談に入りました。話題の多くは病院通いのこと、体調のこと等老人会の集いのようですが、若い頃の在学中の話題に事欠かないことはもちろんです。遅れて参加いただいた廣田校長先生のお話をお聞きし、最後に高崎より参加の野村紘一君の指揮で校歌「山また山」を斉唱して、またの再会を約して散会しました。

(松井忠夫)



高9回



回期別対抗ゴルフ・コンペ

同窓会主催のゴルフコンペが9月29日(日)長野カントリークラブにおいて、87名参加のもと新ペリア方式で開催されました。

成績は下記の通りです。

- 個人優勝 鹿熊 翼(高11) グロス 99 ネット67.8
- 個人2位 安藤 光彦(高11) グロス 79 ネット69.4
- 個人3位 藤澤 典隆(高37) グロス101 ネット69.8
- 団体優勝 高37(増田行広・藤澤典隆・轟克夫)
- 団体準優勝 高34(小島隆史・山岸賢治・服部俊直)
- 団体3位 高25(関茂・藤澤敏彦・保谷秀幸)
- 団体4位(高20)／団体5位(高29)／団体6位(高24)
- 団体7位(高22)／団体8位(高11)／団体9位(高27)
- 団体10位(高23)／団体11位(高33)



団体優勝



個人優勝



個人2位



団体準優勝

特別寄稿 月イチの同期会例会を四半世紀

高21回 中村隆次

私ども21回(昭和44年卒)は周年の同窓会(別稿のとおり2024年は55周年を開催)とは別に、中央通りセントラルスクエア隣のご存じ長高生のオアシス「権九郎」(20回持田健二さん経営)で毎月21日(土日と旗日はその前後)に同期会月次例会を「二一会」と名付けて続けてきました。

会費が3,500円というほかには出欠確認も開始・終了時刻も何もキマリなし、21日の夕方6時ころ何となく寄って来て文字通り心に映る由無しごとを十数人でそこはかとなく語り、9時ころには電車やバスで帰るメンバーから先に辞去する、という呑み会です。

月次開催の手本にさせていただいたのは19回とそのあと20回が当時権九郎で開いていた集まりでした。

二一会の第1回目がいつだったかの記録はありませんが、いちばん古い日付は「2000(平成12)年9月

21日・二一会例会：10名参加」と中村の日記にあります。始まったのはもっと前なので、毎月繰り返して四半世紀続いているということになります。

鬱陶しい「役職自慢」「孫自慢」「病氣自慢」の「同窓会あるある三点セット」がメンバーの見識によりホドホドだったのが長続きの理由でしょうか。

「コロナ禍」もお店のルールは守りつつ「だからナニか？」で原則乗り越えましたし。

写真は55周年同窓会打ち合わせの9月の例会で普段より多めですが参加者は1組宮島、2組横山(恵)・森忠・中村、3組倉島(圭)、4組金子・成沢、5組須田・高梨・林・横田、6組菊池・池田(京子)、7組兼沢・田中、8組岩崎・中部、9組内田・野中・松尾・森正。偶々欠席の「常連」は5組野村・久遠、6組中村雅(以上敬称略)。

ここ5年間の世話役、横田・中部両君に感謝、そして持田さんご夫婦に25年間に深謝です。



池田満寿夫ギャラリー

金鶏会館では池田満寿夫(高4回)の作品を50点余り、常設展示しております。

ぜひ、ご覧にお越しください。

(平日14時～17時、それ以外の時間は予めご連絡ください)



絵画寄贈

高33回水庫正人さんから、池田満寿夫氏が母親を描いた絵画をご寄贈いただきました。

水庫さんのお母様が満寿夫氏といと関係で、満寿夫氏母親の13回忌法要の折りに贈られたものです。池田満寿夫ギャラリーに展示してあります。



旧制中学時代の入試問題(その2)

昨年12月発行の日新鐘第84号に掲載した、大正12年度長野県立長野中学校の入試問題の続きです。

文章と図を使ったなかなかユニークな問題です。(中等學校入學試験「讀方豫習書」附大正十二年度入學試験問題と題する尋常小学国語読本の解説書に付録として旧制中学入試問題が付けられていました)

朝の太陽の光を背に受けて、門を入りて、直線
に玄關に達し、案内を乞へば、正面なる障子引き
あけて袴つけたる少年出づ。御主人に面會したき
旨申出づれば、一旦奥に入りぬ。ふと見やればそ
の障子の上高く盡忠報國の四大字を書したる額
かゝげらる。主の職務に相應したるやうに覺えて
ゆかし。やがて再び出で來れる少年に導かれて、
額の下をくゞりて次の間に入り、右側の襖押しあ
くれば、こゝは主人の部屋なるべし、右の壁際に
書棚ありて洋書背をならべ、軍帽壁にかけられ洋
劍床に立てかけられたり。左に障子ありて採光に
便し、庭に池あり硝子越に紫菀蒲咲き出で山吹な
らん黄なる花咲き垂れたるも見ゆ。すべて室内よ
く整頓して日常の生活も規律正しき人の住居と見
えたり。

前ノ文ヲヨク讀ンデ簡單ニ次ノ問ヲ答ヘナサイ。

イ 季節ハ何
ロ 額ハドノ邊ノ上ニカケテアリマスカ
書棚ハドノ邊ニアリマスカ。
ハ ドチラガ北ノ方角ニナリマスカ。
ニ 額ヲ見テ、ナゼユカシク思ヒマシタカ。

次ノ圖ハ此ノ住居ノ略圖トシテ

新規データベースへの登録のお願い

6月の学年幹事会で、今後同窓会のDX化を進め、運営負担の低減を図るとともに、同窓生相互のネットワークの活性化を図り、登録データを基に現役生の探究的な学びや進路探究の支援につなげたりするため、新たなデータベースの構築を進めることが決まりました。なお、当面、日新鐘と振込用紙の郵送は継続いたします。

ついては、会員の皆さんからそれぞれ登録していただき、よりよいデータベースが構築されますようご協力をお願いいたします。ホームページの住所変更フォームから、また下記のQRコードからも登録できます。



長中45回 同窓生より

お葉書をいただきました

なつかしい長野中学、思い出しました。

老生96才、昭和19年9月学徒動員、名古屋市の北西の街の軍需工場へ。その工場のofficeに女の子がいて彼女と恋仲になり、love letterももらいましたが、戦時下で先生に叱られると思って止めました。昭和20年3月に長野に帰りましたが、その時名古屋が焼野原になっていて驚きました。行った街でB29の米兵の遺体を見つけました。

小学校の時から日支事変、戦争で明けくれました。

以上 乱筆ですみません。ありがとうございました。

令和6年6月2日

長野高校吹奏楽班OB・OG 第56回定期演奏会

日 時 令和7年3月29日(土)
13:30 開場/14:00 開演

会 場 ホクト文化ホール 大ホール 入場無料

曲 目 A.リード/エル・カミーノ・レアル
L.H.ベルリオーズ/ローマの謝肉祭 ほか

皆様のご来場、また多くの吹奏楽班OB・OGの皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

詳しくは公式サイトまで <https://nhb-obog.net>

市民大学事業

金鶏会館連続公開講座

古文書から読み解く歴史学「いま明かされる古代52&中世」

公開講座

主催：一般社団法人長野教育文化振興会
協力：一般社団法人長野高等学校金鶏会
後援：長野県、長野県教育委員会、長野県長野高等学校

於 金鶏会館 大講義室

第1回 10月5日(土)〔第343回講演〕

長野県長野西高等学校 教諭・元長野県立歴史館 専門主事

傳田 伊史 先生

「古代の大災害と信濃国の社会変動」

ー9世紀後半の南海トラフ地震を中心にー

第2回 10月19日(土)〔第344回講演〕

長野県立歴史館 学芸部 文献史料課 課長・学芸員・認証アーキビスト

村石 正行 先生

「古文書と日記から読む川中島の戦い」

ー新出の文書を位置付けながらー

第3回 11月9日(土)〔第345回講演〕

信州大学 大学史資料センター 特任教授

福島 正樹 先生

「古代信濃の歴史的景観」ー官道・官衙・条里ー



古文書から読み解く歴史学「いま明かされる古代53」

公開講座

主催：東京大学史料編纂所「天皇家・公家の「知」の体系化としての文庫・宝蔵研究拠点創設」プロジェクト
協力：一般社団法人長野教育文化振興会、一般社団法人長野高等学校金鶏会
後援：長野県長野高等学校

於 金鶏会館 大講義室

第1回 12月14日(土)〔第346回講演〕

京都府立京都学・歴史館 館長・京都府公立大学法人理事長・

京都大学名誉教授

金田 章裕 先生

「与等津と平安京」ー河港の位置と施設ー

第2回 1月25日(土)〔第347回講演〕

長野県長野西高等学校 教諭・元 長野県立歴史館 専門主事

傳田 伊史 先生

「古代の大災害と信濃国の社会変動 その2」

ー8世紀の信濃国地震と地変を中心にー

第3回 2月15日(土)〔第348回講演〕

長野県文化財保護協会 常務理事・上田市公文書館 専門事務員

倉澤 正幸 先生

「上田地方における古代の信濃国分寺、国府跡推定地の検討」

ー過去の発掘調査成果等からー

第4回 3月22日(土)〔第349回講演〕

東京大学名誉教授・京都府立京都学・歴史館 京都学特任研究員

田島 公 先生

「伊奈評衙の成立・評寺の建立と伊那郡衙の機能」

ー文献史料から見た史跡恒川(ごんが)官衙遺跡ー

結婚相談室のご案内

相談日は
水曜日です

1. 相談日時 原則として水曜日のみ 10時から16時まで
2. 相談員 長野高校の同窓生である女性相談員が務めております。

ご本人の来室が難しい場合、ご家族様が代わりに相談にお見えになっても結構です。

ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。
お問い合わせ先

TEL 026-235-3822(平日14時～19時)

E-mail dousoukai@kinshi.org

http://www.kinshi.org



令和6年度同窓会費(3,000円)の納入をお願いいたします。

今年度の会費未納の方に振込用紙を同封いたしました。ご協力をお願いいたします。

送金方法

- ①同封の振込用紙でのお振り込み
コンビニ・郵便局のどちらでも利用できます
- ②用紙を使わず銀行へのお振り込み
下記の口座へお願いいたします。お名前と卒業回期または、お客様番号を入力してください。
八十二銀行 長野北支店 普通 133722
一般社団法人長野高等学校金鶏会
長野信用金庫 城北支店 普通 0031958
一般社団法人長野高等学校金鶏会
- ③スマートフォン決済

スマホ決済で会費が納入できるようになりました。

会費納入について、「d払い」と「auPAY」が利用できるようになりました。

振込用紙に印刷されているバーコードを読み込んで、納入していただくことができます。

郵便局やコンビニに出向かなくても会費の払い込みができますので、ご活用ください。

なお、チャージ残高から支払われますので、ご利用の際は事前に残高の確認をお願いします。

寄贈図書



医療・福祉の総合情報誌
JAPAN MEDICAL SOCIETY 2024年6月号～10月号
野村元久氏(高10回)寄贈



破片堂人の歩み
著者 瀧沢敬三氏(高13回)



ポケット説教
一開きたい「心の眼」
著者 矢澤俊彦氏(高13回)
他1冊



近畿長野県人会
創立60周年記念誌
60年のおゆみ
安藤隆雄氏(高17回)寄贈



世界のクリスマス
百科事典
編者 中牧弘允氏(高17回)



満州 難民感染都市
知られざる闘い
著者 矢島良彰氏(高19回)



子どもと大人と親のはなし
～町の音楽教師から見た世の中～
著者 草の実アイ氏(高24回)



未来の食と環境を守れ
有機農家からの提案
著者 涌井義郎氏(高24回)



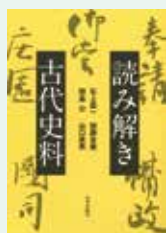
有機農業をはじめよう!
研修から営農開始まで
涌井義郎氏(高24回)共著



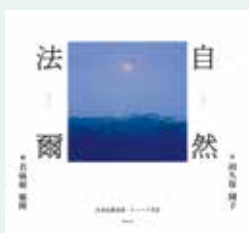
ぼくのおじいちゃん
著者 久里備寛(荻原 実)氏
(高27回)



蔵書目録からみた
天皇家文庫史
天皇家ゆかりの文庫・
宝蔵の目録学的研究
著者 田島 公氏(高29回)



読み解き古代史料
田島 公氏(高29回)共著



自然法爾
赤い風船
著者 若麻績敏隆氏(画)
(高29回)



超低出生体重児の
管理マニュアル
北澤憲孝氏(高38回)共著
他2冊



ヤマト王権誕生の真実
渡来王朝説からひもとく古代日本
著者 仲島 岳氏(高39回)



小林次郎関係文書
尚友ブックレット40
一般社団法人尚友倶楽部 寄贈

ご寄付をいただきました。

- ◇高14回 傘寿記念 10万円
- ◇高16回 卒業60周年 7万1千円
- ◇高21回 卒業55周年 30万円
- ◇高26回 卒業50周年 20万円
- ◇高55回 卒業20周年 30万円
- ◇高56回 卒業20周年 6万6千円
- ◇匿名の同窓生の方 80万円

この方からは4年続けてご寄付をいただきました。120周年記念事業の「金鶏太陽光」奨学金に上乘せる形で使わせていただきます。



高21回



高26回

ありがとうございました。

事務局便り

- 18ページで紹介した新しいデータベースの備考欄には、「医療分野で協力」「起業志望者にアドバイス」「学際的学び、探究学習などへの協力」など、いろいろな分野で同窓生から支援・協力ができる旨の記載もいただいています。こうした情報の蓄積と活用を進めたいと思います。
- 昨年度の全日制1年生希望者の米国研修に続いて、全日制2年生の台湾研修が復活しました。グローバルに活躍する同窓の皆さんにご協力いただくこともあろうかと思ひます。よろしくお祈いします。
- 令和7年度の学年幹事会・同窓会総会・懇親会は6月28日(土) ホテル国際21において開催を予定しています。幹事学年は高41回と高53回の皆さんです。よろしくお祈いします。